# 第２回地球村普代っ子学園講話
## 「普代村と救援米の出合い」

九月二十三日、村教育委員会（新沼敏哉教育長）では、「地球村普代っ子学園」を開校。各小学校子ども会会長、副会長三十九人が参加。「昭和二十七年三月二十二日に時外れの大雪に見舞われ、食料危機に陥ったときの様子」を聴いたり、「ソバの刈り取りから脱穀作業まで」貴重な体験をしました。

昭和27年3月22日の食料危機に宮古市から船で米を運び救護活動した太田岩蔵さん（左）、大村豊雄さん（中央）、十文字俊夫さん（右）。子どもたちは熱心に耳を傾け聴き入っていました

## 「ソバ刈り取り体験」

山崎伍助さんら３人の芦渡老人クラブの方々からソバ刈り取りなどの指導を受けた子どもたち

# 長寿を祝う
## 村合同敬老会とうねとり荘敬老会

九月十五日（敬老の日）、村の合同敬老会が行われました。敬老会には村内から七十歳以上の高齢者二百二人が出席して、村社会体育館で普代児童館園児の遊戯や歌、各地区婦人会の皆さんの手踊り、鵜鳥（うのとり）神楽、とりも農村青年音楽隊の演奏などが披露され、高齢者の方々の健康と長寿を祝いました。

深渡宏村長は「村の発展の土台を築いていただいた皆さんに感謝します。健康で、家族に慕われ、元気で長生きしてください」とあいさつ。

村の百歳以上の長寿者、堀内の畠中オエイさん（一〇二）と年度内百一歳到達者の旭日（あさひ）区、新屋タカノさん（一〇〇）に久慈地方振興局の本田敏秋局長から県知事記念品が、村内の七十歳以上の高齢者の皆さんには村からの記念品が贈られました。

合同敬老会で楽しむ高齢者の方々

村の七十歳以上の人は、平成十四年四月一日現在で、六百十二人（男二百三十三人、女三百七十九人）です。

敬老会には次の方々から温かい善意がよせられました。ありがとうございます。

▼いわてくじ農協普代支店…タオル一本入…六百十二箱　▼和山物産㈱…一万円　▼㈱三陸水産…一万円　▼㈱マルサ嵯峨商店…一万円　▼村校長会…一万円　▼中村建設㈱…一万円　▼村婦人団体連絡協議会会長…一万円　▼村社会福祉協議会…五万円　▼普代村漁協代表理事組合長…酒三升

特別養護老人ホームうねとり荘でも九月十四日、入所者五十五人（デイサービス利用者二十三人）、生活支援ハウスから四人の五十九名が参加。敬老会が行われました。

普代児童館園児の遊戯や歌、太田名部婦人会、桜会（女性の船参加者会）の手踊りなど披露され、祝いに駆け付けた家族などとともに長寿を喜び合っていました。

普代、堀内両児童館の園児たち全員で敬老の日に、おじいちゃん、おばあちゃんへ「長生きしてください」とはがきを出しました（写真は普代児童館、さくら組の園児たちです）